

健康づくり推進事業所認証制度の見直しについて（案）

1 認証項目等の見直しについて

当事業は、就労者の生活習慣の改善・職場における健康づくりを促進することを目的に平成 25 年度から開始し、現在 65 事業所を認証している。前回の部会において、改正労働安全衛生法や健康経営の視点を取り入れた認証項目の変更等について検討していくことにした。現認証制度の特色（市の事業の活用や地域に根差した健康づくりの実践を推奨）を活かしつつ、職域での健康づくりを推進する視点から見直し案を作成した。

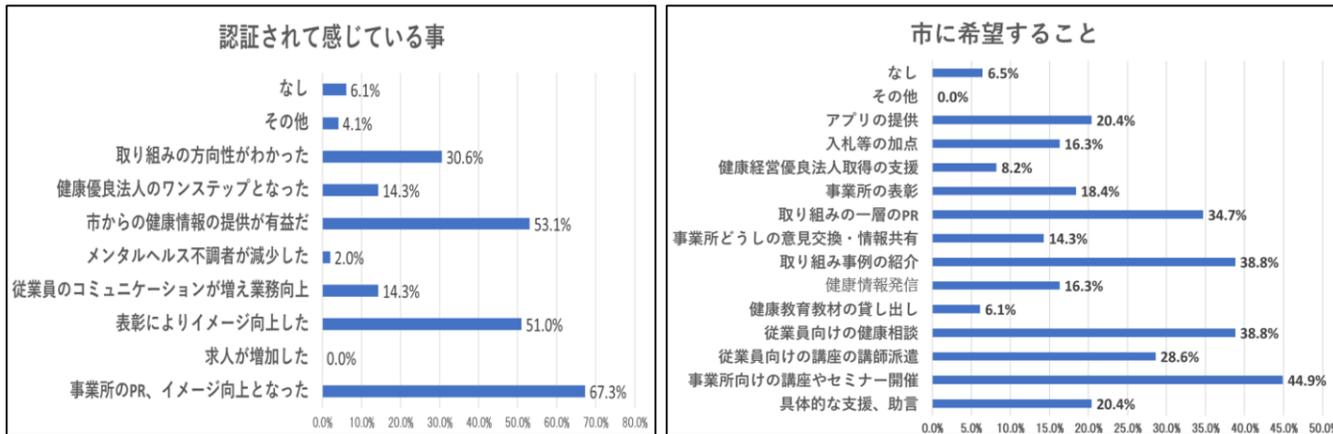
2 事業所へのアンケート結果

（1）明治安田生命保険相互会社による市内事業所アンケート（R4.7月～10月実施）

【健康づくり推進事業所への申請意向（規模別）】 【どのようなことがあれば今後申請するか（意向有無別）】※複数回答

	10人未満	～49人	～99人	不明	合計	意向有無	認証基準をもっと下げてほしい	電子申請等による簡易な申請方法	認証されたことによる特典の充実	健康づくりの取組みの支援
意向あり	11(10.9%)	20(22.7%)	3(100%)	9(22.0%)	43(18.5%)	意向あり (43)	5(11.6%)	19(44.2%)	3(7.0%)	1(2.3%)
意向なし	51(50.5%)	35(39.8%)	0(0%)	14(34.1%)	100(42.9%)	意向なし (100)	7(7.0%)	7(7.0%)	20(20.0%)	4(4.0%)
わからない	17(16.8%)	13(14.8%)	0(0%)	9(22.0%)	39(16.7%)	わからない (39)	0(0.0%)	6(15.4%)	8(20.5%)	1(2.6%)
無回答	22(21.8%)	20(22.7%)	0(0%)	9(22.0%)	51(21.9%)	無回答 (51)	0(0.0%)	2(3.9%)	19(37.3%)	0(0.0%)
合計	101(100%)	88(100%)	3(100%)	41(100%)	233(100%)					

（2）健康づくり推進事業所への市独自アンケート（R4.7月～8月実施）※対象 64 事業所（回収 49 事業所）



3 認証項目等見直しの考え方のポイント

ポイント	理由
① 認証事業所の裾野を広げる	関心はあるが「やり方がわからない」「手続きの時間がない」といった中小事業所の枠組みへの参加を働きかけ、機運醸成を図る。
② 認証ランクを3段階に分ける	入口のランクは、健康づくり宣言の他、法定項目程度とし、他社の取組みを学び徐々にランクアップを図る。
③ 健康づくり推進事業所への支援の充実	ランクアップをしていくための学びの場の確保やモチベーション向上を図る。（セミナーや情報交換会の開催など）
④ 健康づくり推進事業所へのインセンティブの充実	枠組みへの参加促進を図る。（就労世代の健康づくりパンフレット配布や就活生に向けた認証事業所制度のPRなど）

4 認証項目

項目	No	取組内容	主旨（考え方）	変更箇所	認証ランク		
					1	2	3
健康づくり宣言	1	従業員の健康づくりに関する宣言をしている。	組織として従業員の健康づくりに取り組む旨を意思表示することで、取組みのきっかけとするとともに、活性化を促すために設定。		必須	必須	必須
組織体制	2	経営者（支店等の場合はその長）自身が年に1回健康診断を実施している。	経営者本人が率先して従業員の健康増進の行動規範となるべきことから、自身の健康管理について意識してもらうために設定。	○健康経営		必須	必須
	3	健康づくり担当者を設置している。	従業員の健康づくりの取組みを組織として展開するにあたり、必要な体制が構築されていることが望ましいことから設定。	○健康経営		必須	必須
	4	（健康保険組合等からの求めに応じて）40歳以上の従業員の健康診断のデータの提供を行っている。	事業者と保険者のデータ連携を通じた効果的・効率的な保健事業を推進するために設定。	○健康経営		必須	必須
従業員の健康課題の把握と必要な対策の検討	5	年1回の定期検診の受診率を把握し、未受診者に対し受診勧奨をしている。	事業所としての健康課題を設定するための前提として、定期検診の受診率を向上し、従業員の健康状態を把握することが重要であることから設定。			必須	必須
	6	従業員のメンタルヘルスの状況を把握している。	従業員のメンタルヘルス不調を未然に防止するためには、ストレスを把握し、組織として適切に対応することが必要であることから設定。			必須	必須
	7	事業所としての健康課題を把握している。	健康づくりに関する具体的な効果的な施策に取組むにあたり、事業所としての健康課題を適切に設定する必要があることから設定。	○健康経営		必須	必須
	8	上記健康課題を踏まえ、今後重点的に進めていく取り組みを検討または実施している。	課題解決のための取り組みについて、計画策定までいかなくとも、何を重点的に進めるかの検討が必要なため設定。	○健康経営		必須	必須
	9	上記健康課題を解決するための具体的な推進計画を策定している。	取組みにあたっては、課題に対して具体的な計画や数値目標等を設定していることが望ましいことから設定。	○健康経営			必須
環境づくり	10	働きやすい職場づくりの推進をしている。	従業員のモチベーション向上、組織の活性化、従業員同士の連携の強化のため、働きやすい職場づくりが求められることから設定。	○健康経営			
	11	相談窓口を設置している。	健康課題も多様化しており、様々な健康課題に対応した相談窓口を設置していることが望ましいことから設定。	○健康経営			
	12	定期検診の再検査や保健指導、がん検診の受診環境の整備をしている。	従業員が自身の健康状態を把握・改善するため、再検査やがん検診を受診しやすい環境を整備することが重要であることから設定。	○健康経営		6項目のうち2項目以上	6項目のうち4項目以上
	13	事業所内に健康に関する機器の設置をしている。					
	14	従業員向けに健康づくりに関する情報提供（運動・栄養・歯科・その他）をしている。	従業員や管理職に対し、健康づくりの必要性を認識してもらうためには、健康づくりに係る取組みや知識向上のための機会の提供など環境を整備することが重要であることから設定。				
従業員の心と体の健康づくりに関する具体的施策	15	従業員向けに健康づくりに関する講演会等を開催または参加させている。（オンライン含む）					
	16	運動機会の増進に向けた取組みを行っている。	生活習慣病等による欠勤、病休等を防ぐため、従業員の食生活改善や運動を促すための取組みが重要であることから設定。				
	17	食生活の改善に向けた取組みを行っている。					
	18	メンタルヘルス不調者への対応に関する取組みを行っている。	事業所としてメンタルヘルス不調予備群や不調者に対するサポート体制を整え、ケアすることが重要であることから設定。				
	19	長時間労働者への対応に関する取組みを行っている。	事業所として従業員の超過勤務状況を把握し、ワークライフバランスや心と体の健康に配慮した対策を行う必要があることから設定。	○健康経営		8項目のうち4項目以上	8項目のうち6項目以上
	20	女性特有の健康課題に対応する環境整備を行っている。	女性の社会進出に伴い、女性特有の健康課題に対応する環境整備やリテラシー向上に向けた取組みが求められることから設定。	○健康経営			
	21	感染症予防に関する取組みを行っている。	インフルエンザや新興感染症流行時においても、仕事を続けられるよう従業員の健康に配慮した対策や制度を整備することが重要であることから設定。	○健康経営			
地域貢献	22	歯・口腔に関する取組みを行っている。	歯と口の健康は全身の健康状態に関連するため、従業員に対する歯科検診の受診勧奨や知識向上の機会の提供などの環境を整備することが望ましいことから設定。	○独自			
	23	禁煙に関する取組みを行っている。	喫煙者本人の健康増進と受動喫煙を防止するため、禁煙に向けた取組みを設定。	○健康経営			
	24	地域住民の方へ（飲食店や小売業の場合はお客様に）健康づくりに関するイベントや情報提供を行っている。	地域保健と職域保健が連携し、健康づくりに関する社会資源を相互に有効活用することが望ましいことから設定。				必須
評価・今後の取組	25	健康課題への取組みに対する評価を行っている。		○健康経営			必須
	26	上記評価の結果と評価を踏まえた取組みの改善を行っている。	効果的な取組みを推進するために、結果を振り返り、その結果をもとに改善を行うPDCAサイクルの構築が望ましいことから設定。	○健康経営			必須